

普及活動情勢報告（令和2年8月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

新しい風を起こそう！！ ～WEB会議研修～



7月21日、安芸・室戸地区農村女性リーダーに6人が参加して、WEB会議の方法について研修を行いました。

農業改良普及課と室戸支所の職員が講師となり、実際に安芸総合庁舎と室戸支所をタブレットで接続しながら、アプリへの接続やビデオ通話の方法を説明しました。

研修会の後半では、参加者も個々のスマートフォンからWEB会議用アプリに接続し、気軽に会議に参加できることを体験しました。

次回は、9月に2カ所に分かれてWEB会議をします。農業改良普及課は今後も、農村女性リーダーの活動を支援していきます。

みんなで守るぞ！ ポンカン産地！！ ～ 東洋町ポンカン振興対策協議会発足式 ～



8月3日、甲浦柑橘部長や指導農業士等の生産者代表、農業改良普及課室戸支所、東洋町、JA高知県安芸地区、農地中間管理機構の担当者らによる「東洋町ポンカン振興対策協議会」が発足しました。

本協議会は、生産者の高齢化等に伴う後継者不足、ポンカンの高樹齢化、鳥獣被害といった課題について協議、対策を検討して、ポンカン産地を維持・振興することを目的としています。

今年度は、園地マップの作成や営農意向調査を実施し、その結果を反映して「ポンカン産地振興計画」を策定します。さらに後継者対策の先進地調査等も予定しています。農業改良普及課室戸支所は、協議会と協力して、ポンカン生産者を支援していきます。

令和2園芸年度の振り返り ～安芸市サポートハウス利用者との面談～



8月7日、14日に、安芸市新規就農支援チーム（安芸市、JA、農業改良普及課）は、JA安芸地区あき北支所でサポートハウス利用者6人と個別面談をしました。

今作を終了した利用者からは、「定植後の水管理を失敗したので、次作は気をつけたい」、「必要な作業を遅れることなく実行できた。今後も作業の遅れがないように心がけたい」等の声がありました。

この声を元に、就農支援チームはと今作の改善点を助言するとともに、利用者と次作の目標を設定・共有しました。

農業改良普及課は関係機関と連携し、今後も定期的な巡回や面談等を通じて、新規就農者の早期経営安定への支援に取り組みます。

農薬の使用とGAPについて学ぼう！ ～第2回農業基礎研修講座開催～



農業改良普及課では、就農5年目までの新規就農者等を対象に、7月から2月まで毎月1回の農業基礎研修講座を開催しています。

8月11日の「農薬の使用とGAP」についての講座には、23人が参加しました。

農業改良普及課の職員が、実際に展着剤を植物に散布して解説したところ、出席者から「どんな場合に展着剤が必要か、実演を通して確認できて良かった」という声がありました。また、GAPについては農作業事故の事例を紹介し、労働安全対策の重要性を説明しました。

農業改良普及課では今後も新規就農者への支援を行います。

ナスフザリウム立枯病防除の徹底 ～8月芸西ナス部会総会～



8月14日、JA高知県芸西支所で、芸西支部園芸部ナス部の総会が開催され、生産者21人が参加しました。

農業改良普及課からは、特に今後の防除が重要である「ナスフザリウム立枯病対策」について周知しました。

生産者からは、「芽かきや摘果でできる傷口にかかるように殺菌剤をかけることが大切。」といった声があり、効果的な殺菌剤散布のポイントが伝わったようでした。

農業改良普及課は、8、9、10月をナスフザリウム立枯病防除徹底期間として、巡回指導を通して防除の徹底を生産者に働きかけていきます。